

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和5年5月19日(金)
午前10時～午前11時47分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 出席者 市長 久保田桂朗、副市長 柴田義晴
総務部長 中村定秋、総務部専門監 齋藤元英、健康福祉部長
長谷川忍、建設部長 片岡和浩、消防長 岡本康弘、教育こども未来部長 近藤玲子
行政課長 佐野剛、同統括主査 森吉正、同主幹 井手上豊彦、
子育て支援課長兼地域交流センター長 西井上剛

6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 丹羽亮二

7 議長あいさつ

8 市長あいさつ

9 報告事項

(1) 執行機関からの報告

① 6月定例会に提出予定の議案について

総務部長：一般会計補正予算(第3号)については、早期の給付につなげるため先議でお願いしたいと考えている。

各部長：補正予算以外の所管する議案等について、資料に基づき説明。

健康福祉部長：岩倉市印鑑条例の一部改正について、要約すると、5月11日から一部のスマートフォンでマイナンバーカードと同等の機能を搭載できるサービスが開始された。機種によっては4桁の暗証番号に代わり生体認証機能を活用可能。印鑑登録証明書のコンビニ交付については、今後順次対応サービスが拡大されるものの一つとして、年内開始予定。このため施行期日は規則で定める日からとする。

総務部長：消防ポンプ自動車購入の契約に関する議案について、入札は告示日の25日となっており、通常、議案は告示日に配るが、この議案に限り別に配布をする。

各部長：補正予算について、資料に基づき説明。

総務部長：ディズニーパレードについて、名古屋江南線の中央町3丁目交差点南から川井町古井交差点北までの約1kmの予定。時間は今後変更の可能性もあるが、午後2時15分頃からを予定している。24日の定例記者発表で公表する。昨年度の岩倉ダンスフェスは総合体育文化センターの指定管理者の自主事業であったが、今年度は市の事業として指定管理者に委託して実施する。委託料には仮設トイレ設置、警備費用も含む。先日和歌山

で行われたパレードには沿道に7万人集まったとの報道があった。本市でも多くの人出が予想されるため、警備・誘導體制について江南警察署とも協議しているが、警備に要する費用が今後変動した場合、改めて相談したい。

総務部長：今回の補正後の留保財源は、決算前の集計ではあるが5億8千万円程となる見込み。

コロナ交付金の補足であるが、これまでは用途について指定がなかったが、今回は推奨分と低所得者支援枠分とに分かれている。先議の家計急変世帯には低所得世帯支援枠分を充当できないため、推奨分を充当する。

【質疑】

特になし。

②要綱等の公表について

行政課長：資料に基づき説明。

【質疑】

水野議員：要綱等の公表については、公表に適さないもの以外は公表するという、公表しないものを決める考え方もあるが、取り扱いのスタンスは。

行政課長：前提は公表していく。市内部の要綱は公表していない。市民にかかわりあるものはすべて公表。

水野議員：要綱の存在の有無についての公表は。

行政課長：どれが当たるか分かりかねる。公表すべきと判断したものは公表している。

木村議員：公表しないものの要綱の選定はどういうところで判断していったのか。

行政課長：表に記載している区分に分けている。②③に該当するものはすべて公表。①については市内部の要綱は公表していない。行政課の基準を設けて各課に照会し、各課で選定して、行政課で統一を図り、全庁的な基準を基に決めている。

塚崎議員：残りの①の要綱をホームページに上げるのは、容量的に難しいか。

行政課長：すべて上げることで見づらくなる。容量の影響もあるため、今回は基準をもとにアップロードした。

片岡議員：公開はされている。公開することが目的ではなく見やすさが大事。より市民が見やすいような形にする考えは。

行政課長：今後の課題として研究していきたい。

③小中学校の児童生徒数及びクラス数、学校行事について

教育こども未来部長：資料に基づいて説明。

岩倉北小、岩倉東小の運動会では来賓席は設けていないが、本部席に用意している。

【質疑】

井上議員：学校関係では在籍数が分かっているが、放課後児童クラブの在籍人数は。

子育て支援課長：放課後児童クラブの在籍数については、4月1日現在、通年利用という形で登録しているのは580名、前年より80名の増となっている。学校別では、北小200名、45名増、南小学校117名、3名増、東小学校41名、10名増、五条川小学校125名、20名増、曾野小学校97名、2名の増となっている。

榎谷議員：岩倉市在住で小牧や一宮市の特別支援学校に在籍している生徒数は。

教育こども未来部長：手元に資料なく、後ほど報告。

片岡議員：中学生の海外派遣事業は今年もオンラインとあるが、どういった理由でオンラインか、来年以降の考えは。

教育こども未来部長：昨年度から学校と委託先の国際交流協会とも相談を重ねてきた。現地で発症があった場合の対応を考えると、オンラインにしたほうが良いのではないかとということで、来年度以降は派遣出来たらと考えている。

榎谷議員：一宮東特別支援学校のスクールバスが国道155号線を通るが、渋滞がひどく子どもの体が心配である。要望していただけるとありがたい。

④ 保育園等の入園状況について

子育て支援課長：資料に基づいて説明。

【質疑】

塚崎議員：公立園の0歳児を受け入れていない園があるのはなぜか。

子育て支援課長：施設整備が整っていない。0歳児は私立の施設で定員を増やしてもらい、また小規模保育事業所を開設してもらいなど、市全体で受け入れ枠は確保している。

塚崎議員：コロナの影響で正規から非正規になった人は増えていると思われるが、0歳児の受け入れの要望の声は届いているのか。

子育て支援課長：勤務形態が変わったから預ける必要ができたという、細かな数の増減は把握していない。預けたいという声に関しては状況にかかわらず受けている。

塚崎議員：正規非正規関係なく、預けたいという声は届いているということか。

子育て支援課長：預けたいという声イコール入園申し込みとしてはある。

⑤その他

特になし。

(2) その他

特になし。

10 協議事項

なし

11 その他

なし